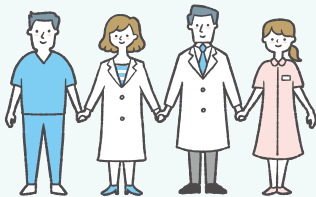


人工透析内科の6つの特徴

point
1

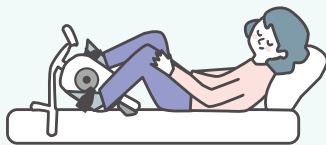
総合的な治療に対応



透析患者様に多く見られる循環器、消化器、整形外科、糖尿病、脳梗塞などの肝臓疾患以外の疾患に対しても、専門医に診察を仰ぎ総合的に診療を進めることができます。必要に応じて入院透析も可能です。維持血液透析だけでなく、緊急透析、各種血液浄化療法にも対応。

point
2

透析中のリハビリの実施



透析中に透析患者様の筋力の維持・増強や生活の質の改善・透析効率の上昇を目的として、身体状況に応じて理学療法士・看護師による運動リハビリテーションを提供しています。透析中の運動療法によって血流が増加し、透析効率が改善するという研究報告があります。

point
3

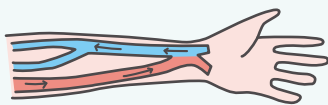
管理栄養士による栄養指導



透析治療を受けている方の食事管理は、治療の一部として非常に重要です。ご家庭での食事の参考になるよう、管理栄養士による食事指導を実施しています。安定した維持透析が継続でき、合併症予防ならびにQOL向上を目指しています。

point
4

シャントの管理とケア



透析毎にシャントチェックを実施しています。シャントの形態や機能を評価する超音波診断装置（ノートブック型・ハンディタイプ）を設置しています。シャントトラブル時は、経皮的シャント拡張術（VAIVT）治療を実施しています。

point
5

専門スタッフによるフットケア



高率で合併する末梢動脈疾患に対し、早期から予防のための介入を行っています。足切断のリスクを回避するために、透析患者様の足を定期的に観察し、フットケア（爪のケア・保湿等スキンケア・マッサージ・皮膚病の治療）を提供しています。

point
6

透析患者様の送迎



患者様が安心してご通院、ご帰宅いただけることを目的として、無料でご利用可能なサービスを提供しています。病院から5 km以内で、お1人での車の乗降が可能な方が対象です。

※ 患者様の身体状況によって、相談となるケースもございます。

施設案内

外来透析収容最大患者数 — 88名
透析監視装置設置台数 — 22床
オンラインHDF対応機 — 19台
入院患者対応用機 — 3台
治療日 — 月曜日～土曜日
治療時間 — I部 8:30～13:00
II部 13:30～18:30

お問合せ（医療機関専門）

1. 地域医医療連携室へお問合せ

☎ 045-825-7970

平日 9:00～16:30 土曜 9:00～12:00

透析を行っている場合は、下記の項目をお伺いします。

- 現在透析治療を行なっている医療機関名
- ご希望の透析曜日と時間
- ご希望の透析開始日
- 透析条件（シャント部位等）
- 患者様のお名前・生年月日・電話番号・住所

2. 以下の書類を地域連携室宛てにFAX

☎ 045-825-7970

- 直近の透析記録（過去3日分）
- 診察情報提供書

3. 当院よりご返答

FAX受診確認後、ベッドの空き状況等を確認し、医療機関担当者様または患者様に当院で透析が行えるかをご連絡いたします。

対応疾患

- 血液透析導入
- 腹膜透析導入
- 腎生検
- 腎臓病の進行を遅らせる教育入院
- 腎移植の適応検査と手術先の紹介
- 急性血液浄化療法
- シャントPTA等

入院される場合

下記の書類を地域連携室までFAXをし、後日、原本を患者様にお渡しするか郵送でお送りください。

- 診療情報提供書
- 内服の処方内容
- 直近3回分の透析経過記録
- 透析条件
- 禁忌薬剤、アレルギー既往の有無
- 最新の採血データ（感染症を含む）
- 心臓超音波検査の結果（直近のもの）
- 透析看護サマリー（PTA治療歴の有無）

バスキュラーアクセス治療歴のある患者様

- 直近のバスキュラーアクセスの手術記録
- 次回の受診予定日もしくはPTA予定日が記載されている書類のコピー



外来診療のご案内〈内科・腎臓内科〉



内科・腎臓内科

細川 緑

Midori
Hosokawa

横浜市立大学（平成10年卒）

医学博士

日本内科学会 総合内科専門医

日本内科学会 認定内科医

日本腎臓学会 専門医

日本透析医学会 専門医・指導医

日本アレルギー学会 専門医

日本リウマチ学会 専門医

最近では高齢化により腎硬化症の方が増加傾向にあります。透析に至らないように、加療していくのが目標です。お気軽にご相談ください。

診療科 | 腎臓内科

曜日・時間 | 水曜日 | 8:00～11:45

金曜日 | 13:00～16:00

診療開始 | 午前 8:45～ | 午後 14:00～